

## 経済講演会を開催しました ～さくらインターネット田中社長が 挑戦の必要性を語る～



「まいづる親善大使」に就任された、さくらインターネット(株)代表取締役社長の田中邦裕氏と舞鶴市政策アドバイザーに就任された(株)日本総合研究所プリンシパルの東博暢氏をお招きし、舞鶴市産業支援プラットフォーム(舞鶴商工会議所・舞鶴市)主催による経済講演会を2月27日に商工観光センターで開催し、120人の参加者を前にお二方から今後の地域経済を盛り上げる熱意あふれるメッセージが発信されました。

第一部では、田中氏が「地域と未来を創るアントレプレナーシップ」をテーマに語りました。舞鶴高専在学中に起業した当時のエピソードを交え、今の日本経済について「30年間の停滞期を脱し、AIやデータセンターなどの台頭により大きな成長期を迎えている」と力説されるとともに「世の中の事象は、最初から決められていて変えられない『定数』ではなく、自らの行動で変えられる『変数』である」という力強いメッセージを送られました。田中氏自身も数多くの失敗を経験しながらも挑戦を止めなかったことが、会社を成長させる原動力になったと語られ、年齢に関係なく、何度でも挑戦する「アントレプレナーシップ」を持つことこそが、停滞感を打破し地域を豊かにする鍵であると呼びかけました。

第二部では東氏を交え「これからの時代における舞鶴市の可能性」をテーマに語り合わせ、舞鶴には「舞鶴高専」という人材基盤と、エネルギーや防衛、ものづくり産業が集積している特異性があり、“非常に大きなチャンスがある”と両氏の意見が一致しました。AIという強力な追い風に乗るためには、地域全体で若者や起業家の「挑戦」を応援する風土づくりを進めていくことが不可欠であると熱く語り合わせ、参加者は未来に向けて失敗を恐れず新たな挑戦へと踏み出すための、活力とヒントを得る機会となりました。



成長への原点を語る田中社長  
(2月27日：舞鶴市商工観光センター)

## 舞鶴・綾部創業塾を 開催しました

～創業の夢の実現へ— 13人が受講～



創業の基礎知識を岡原氏から学ぶ受講者  
(2月3日：舞鶴商工会議所)

舞鶴商工会議所と綾部商工会議所の主催で、「舞鶴・綾部創業塾」を1月20日から2月17日までの毎週火曜日に全5回開催し、13人が参加されました。

講師に、岡原慶高氏(アクセルコンサルティング(株)代表取締役・中小企業診断士)を迎え、起業家の心構えからアイデアの発想法、事業コンセプトの考え方、利益計画の作り方まで幅広く講義していただきました。

また、社会保険労務士から「労働保険の基礎知識」、各金融機関の担当者や京都府事業承継・引継ぎ支援センターの担当者からは「創業融資制度の概要」や「融資を受ける際のポイント」、「後継者人材バンク事業」について説明いただきました。

講座の最終日には、受講者がそれぞれ思い描くビジネスプランを発表し、お店の屋号や事業内容、ターゲットや顧客に対する提供価値といった事業コンセプト、セールスポイントなどを共有した上で、受講者間で意見交換をおこない、交流を深めてもらいました。

受講者からは、「講師の講義内容がとても詳しく分かりやすかった」「事業計画を言語化することで課題や修正すべき点がより明確になった」などといった感想をいただき、今後の起業への意欲が高まったことが伺えました。

## 食料品・水産部会、料理飲食部会 合同事業 ～最新のトレンドと技術を学び、ビジネスチャンスを探る～

食料品・水産部会(部会長：藤元裕泰 舞鶴さかなセンター(協)代表理事)と料理飲食部会(部会長：松井恭子 (株)東舞鶴グランドホテル代表取締役)の部会員16人が、2月25日に開催された「第23回シーフードショー大阪」を視察しました。当イベントは、水産物関連の食材及び最新の水産加工技術や鮮度保持技術などが披露される西日本最大級の展示商談会です。

参加者は、活気あふれる会場内の各ブースを巡り、出展者から最新の冷凍保管技術やDXを活用した流通システムなどの説明を受けたほか、水産業界の現状や今後の展望について積極的な意見交換が行われました。

本視察において、参加者からは、「地域の食品業界や飲食店経営にも活かせる技術が多かった」「持続可能な調達や物流の工夫が非常に参考になった」などの声が上がっており、最新の市場動向を肌で感じる有意義な学びの場となりました。



2部会合同で「シーフードショー大阪」を視察  
(2月25日 大阪ATCホール)